

---

# ヤコブ 2 章

---

1. ヤコブの 2 章の初めに出てくる「人をえこひいきすること」はどのようなことだと思えますか？
2. 2節と 3節で、人をえこひいきすることのどんな例を挙げていますか？
3. このような不公平やえこひいきをするのは、私たちがどのようなになったということですか？
4. なぜこの忠告が初代教会の信者たちに必要だったと思いますか？
5. 8節でヤコブは誰の言葉を引用していますか？これはどの箇所からですか？
6. ヤコブは、私たちがえこひいきをするとき、どんな罪を犯していると言っていますか？
7. 13節の最後の部分、「あわれみがさばきに対して勝ち誇るのです」は何を意味していると思いますか？
8. 14-26節によると、私たちが本当に救われているかどうかをはっきり示すものは何でしょうか？
9. 信仰 + 行い = 救い、とヤコブは言っているのでしょうか？ヤコブが示している真理をもっと正確に表す数学的方程式は何でしょうか？
10. 愛の行いが伴わない真の救いの信仰を持つことは可能ですか？
11. ヤコブは、信仰が完成したこと、または実を結んだことを示すために、どの二人を例として挙げましたか？
12. ヤコブは行いのない信仰を、私たちの体にどのようにたとえていますか？
13. この 2 章は神様についてどのようなことを学びましたか？ここで見た神様のご性質は自分自身の見方をどのように変えましたか？それに対して何をするべきでしょうか？